

富特早期支援プログラム

地域支援における小学校1年生への取り組み

地域支援としてのねらい：平仮名の読み書きの困難さはその後の学びの困難性につながりやすいので、早期から取り組みを始めることにより、基礎的な授業参加力の向上を目指す。

- 1 目的 (1)行動のコントロール、聞く・見る力を養うことで、授業に参加する力（学習に臨む力）を養う。
(2)ひらがな・特殊音節の読み書きを確実にして、学習が理解できるようにする。
(3)学習の定着の様子から、個別的な配慮・支援や個別指導につなぎ、小学校1年生で 学年相応の文章を正確に流暢に読むことができることを目指す。

- 2 対象 八街市（1校）・富里市（2校） 小学校1年生

3 年間計画（概要）

		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
該当学級	確認①	直音の読み				直音・単音の読み書き（MIM・ <u>ひらがな単語聴写テスト他</u> ）				単語のまとまり・単文（初見の文章で）		
	活動②	<u>聞くトレーニング</u>				MIM				<u>ビジョントレーニング</u>		
③コーディネーターに向けて		聞くトレーニングの紹介				ひらがな単語聴写テスト、MIM他の紹介				ビジョントレーニングの紹介		
巡回等相談④		読みの状況により、困難さのある児童の様子・相談（デコーディング指導について）				聴写テストの成績・書字により困難さのある児童の様子・相談（個々に合ったビジョントレーニングについて）				必要に応じて個別の相談		
個別指導⑤（配慮・支援）		<u>デコーディング指導</u> （保護者へ、夏休みの学習について）			家庭での学習	デコーディング指導		デコーディング指導 ビジョントレーニング				

（「LD・ADHD&ASD 4月号」より 松江市立雑賀小学校の取り組み）参考

- * 直音とは、ひらがな46文字と濁音・半濁音を加えた71文字
- * 単音とは、直音に拗音36文字を加えた107文字
- * MIMとは、学習につまずく前の段階で把握し指導につなげるアセスメントと学習プリント
- * ひらがな単語聴写テストとは、「読み書きが苦手な子どもへつまずき支援ワーク」の中のひらがな30語を書いて間違いを分析するもの
- * 「聞くトレーニング」とは、よく見る・よく聞く学習習慣の形成と集中力を高める学習活動
- * ビジョントレーニングとは、様々な側面からの見る力を高める学習活動
- * デコーディング指導とは、文字カードを使った個別の読みの練習

- 4 新規活動について（自立活動、国語等）* 本校のセンター的機能を活用した支援③④
 - (1) ①担任が直音の読みの確認：音読に課題があるとき、個別に実施（カード教材など）
 - (2) ②学級全体で行う（聞くトレーニング、MIM、ビジョントレーニング他）
 - (3) ③小学校のコーディネーターに説明
 - (4) ⑤巡回相談の内容を個別指導等に生かす

5 参考書籍

- * 「子どもの『集中力』を育てる聞くトレ 聞く・見る力を改善する特別支援教育」Gakken
- * 「多層指導モデルMIM 読みのアセスメント・指導パッケージ つまずきのある読みを流暢な読みへ」
- * 「読み書きが苦手な子どもへつまずき支援ワーク」明治図書